

国防政策 特集

自由民主 LIBERAL & DEMOCRATIC



発行所
自由民主党本部
郵便番号100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)

<毎週火曜日発行>

自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

リアリティのない 民主党の防衛政策では この国を守れない。

自衛隊違憲の社民党と連立を模索、 政権交代だけが目的の民主党。

政府の責務は、国民の安全を守り、生活を安定させることです。しかし、政権交代を標榜する民主党は、安全保障に関して、何でも反対、党内バラバラ、反米志向の危うさが露呈しています。こうした態度には、民主党との連立に前向きな考えを示す社民党への配慮が伺い知れます。「民主党政権」で国民の安全・生活は守れません。

私たち自民党は、日本を守り、自衛隊の汗に報いる政策を実施し続けます。

民主党は 海賊対処法に反対

ソマリア沖・アデン湾での海上自衛隊の護衛艦などによる海賊対策の新たな根拠となる海賊対処法に、民主党は反対しました。

同海域は、年間約2000隻のわが国関係船舶が通過する経済上重要な航路。南アフリカの喜望峰回りに迂回すると、コンテナ船で燃料代1・2億円の損失となり、**物価にもはね返ります。「国民生活第一」の同党が海賊対処法に反対する理由が見当たりません。**

民主党は インド洋での補給支援特措法に反対

民主党は、インド洋での補給支援特措法に反対し、非現実的な対案しか出せませんでした。小沢一郎代表(当時)は補給支援活動を憲法違反と訴える一方、「国連中心主義」を強調し、ISAF(国際治安支援部隊)への参加を主張しました。これに対し、前原誠司副代表は「国連中心主義は信仰に似ている」と批判。

バラバラの民主党の防衛政策が明らかになりました。

日本の原油の9割が中東からインド洋を経由して輸入されています。**インド洋がテロの海となると、原油の高騰を招き国民生活を直撃しかねません。**

民主党は イラク人道復興支援特措法に反対

陸上自衛隊と航空自衛隊による約5年間のイラクでの復興支援が犠牲者を出すことなく無事任務を終了し、イラク国民から感謝の声が寄せられています。**民主党は、イラク特措法に基づく自衛隊の活動に対し、廃止法案を数度にわたって提出、反対しました。**

民主党は 在沖縄米海兵隊グアム移転協定に反対

民主党は、**日米同盟を「わが国の安全保障の基軸」と述べながら、同協定に共産党や社民党とともに反対しました。**日米関係を損うと言わざるを得ません。

民主党幹部の信じられない発言

★小沢一郎代表 (当時)

- ・「米軍の極東におけるプレゼンス (存在) は第7艦隊で十分」と日米安保の根幹を覆す発言。
(2月24日 記者団に対し)

★鳩山由紀夫幹事長 (当時)

- ・「ミサイルに対してレーザー防衛網をつくれば、必ずしも米国の力に頼らなくても専守防衛のなかで日本の安全を保つことができる」とまったく非現実的な防衛政策に言及。
(2月27日 日本経済新聞朝刊)

★岡田克也幹事長

- ・「米国は核の先制不使用を」と、米国による核の抑止力を否定するかのような発言。
(5月20日 日本記者クラブ)
- ・民主党の経済危機対策の財源として「防衛予算の削減を」と防衛予算の現状を無視した発言。
(5月24日 テレビ朝日「サンデープロジェクト」)

わが国周辺を巡る情勢は 決して油断できない!

◆北朝鮮が2度の核実験を実施。4月には弾道ミサイルを発射し、わが国上空を通過した。国連安保理決議に反発し、3回目の核実験の可能性を示唆。

◆中国の21年連続国防費2ケタの伸び

◆ロシアの軍事力の復調



北朝鮮の弾道ミサイルの落下に備える航空自衛隊のパトリオットミサイル (PAC3)
(PANA通信社提供)

自民党こそが

わが国の安全・安心を守り続けます

「新防衛計画の大綱」改定に向け提言!

◆地震・ゲリラ豪雨はじめ大規模災害や新型インフルエンザなど多様な事態への対処

◆北朝鮮の核・ミサイルへの対処

◆必要な自衛隊の予算・人員の確保



集中豪雨による被災地で復旧作業を進める陸上自衛隊員
(PANA通信社提供)